

令和3年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書(前期・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成

B 本年度の重点

かいなを組んで「おおだて型学力」(主体的実践力・共感的協働力)を育てる
 ~ つながりを深め広げて、共に育つ、共に伸びる ~

- 自ら考え、共に学びをつくり出す子どもを育て、確かな学力の向上を図る指導の工夫と研修の推進
- しなやかな感性と豊かな人間性、生き抜くたくましさをもった子どもを育てる教育活動の展開
- 夢を育てる地域に根ざしたふるさとキャリア教育の充実

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、自信をもち、充実感を感じて学習や活動ができる学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち**
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく**
 - ・自他を大切にし、温かな思いやりの心をもった児童
- まじめにせいいっぱい**
 - ・生涯を通じて学び続けるための基礎・基本となる学力(知徳体)
~おおだて型学力~を身に付けた児童

目指す学校像

- ・子どもの夢を大切に育む学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・学ぶ楽しさや分かる喜びを味わうことができる学校
- ・地域に開かれた生き生きした学校

目指す教師像

- ・子どもを理解し温かく支える教師
- ・誠実でせいいっぱい努力する教師
- ・使命感をもち、研修と実践に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 確かな学力の向上	2 豊かでたくましい心と体の育成	3 地域に根ざしたふるさとキャリア教育の充実
(1)基本的な学習習慣の確立 ・「次代をになう田代の子～学習の約束～」の徹底 (2)主体的に学び高め合う学習指導の充実 ・「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の指導の工夫 (3)基礎的・基本的な学力の定着 ・意図的、計画的な繰り返し指導 ・学習定着状況の把握 (4)一人一人に必要な合理的配慮の提供と実態に応じた指導・支援の充実	(1)心の教育の充実 ・思いやりの心を育む道徳科の充実 ・あいさつや歌声が響く学舎づくり ・豊かな心を育む読書活動の充実 (2)健康と体力の向上 ・体力づくりの推進と体育学習の充実 ・計画的な食育・生活習慣指導と啓発活動	(1)地域の「もの・ひと・こと」を活用した多様な体験活動の展開 ・「たしるたけのこテイクアクション」の深化 ふるさとの風を感じて ふるさとの恵を感じて ふるさとへの思いを育んで (2)連携協働活動の推進 ・「ふるさと教材～たけのこ和紙」の実践
つながりを深め広げて、学びを高める	つながりを深め広げて、しなやかな心と体を育む	つながりを深め広げて、ふるさとと共に生きる

[自ら研鑽に励み、実践的指導力を高める教職員研修]OJTを通じた共に学び合う場の充実

かいなを組むチーム学校(チームやませ)の実現

地域学校協働本部活動推進による学校間・家庭・地域・関係機関との連携・協働

つながりを深め広げて、
しなやかな心と体を育む

【やませっ子発表会 6年】



つながりを深め広げて、
ふるさとと共に生きる

【5年生と赤川資源保全隊の皆様との稲刈り】



令和3年度学校評価一覧(年度)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢の実現に向かう「確かな学力の向上」を図る指導の工夫と研修の推進	かいなを組んで「おおだて型学力」(主体的実践力・共感的協働力)を育てる ～ つながりを深め広げて、共に育つ、共に伸びる ～	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(60%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢を支える豊かでたくましい心と体を育てる教育活動の展開		
	◇夢を育てる地域に根ざしたたふるさとキャリア教育の充実		

大人間の基礎力・大館市民教育(未来・大館市民の実践力の育成)	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・学校、家庭、地域が連携した「あいさつ運動」の実施 ・「次代を担う田代の子」の徹底	3
II 思いやりの心たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	2 夢に向かって努力する資質能力の育成	(2) つながりを深め広げて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たしるだけのこテイアクション」(和紙づくり)による目標に向かう力を育む取組	4	
				3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	4	
					(4) つながりを深め広げて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「歌声の響く学舎」(今月の歌)の取組 ・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年交流・「思いやりの木」の掲示	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・業間等の体力づくり・新体力テストの結果を生かした体育学習の取組 ・委員会主体の集団遊びの実施と工夫(縦割り遊び、学年対抗遊び)	3	
				(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送)・手洗いの励行 ・歯磨き指導(ブラッシング)・メディアコントロール週間の実施・学年に合った食育指導	3		
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	良好	良好	5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・「次代を担う田代の子～学習の約束～」の徹底・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	4	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導・個に応じた指導の工夫 ・聞き方、話し方の強調月間の設定・パワーアップタイムの設定	4	
					(10) つながり深め広げて、主体的に学び合う学習指導の充実	・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・避難訓練(地震、不審者、火災)、防犯教室、交通安全教室、シェイクアウト訓練の実施 ・「すこやか通信」の発行	4	
					(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・引き渡し体制の整備(引き渡しカードの更新)・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・HP、各便り発行、保護者アンケート等による情報発信	4	
					(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材を活用した多様な体験活動の実施(クラブ活動、農園活動、田植え、舞茸栽培、ふるさとを歩こうデー、稲刈り、やませっ子マート、たけのこ皮煮・皮漬し、たけのこの和紙作り)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	良好	子どもたちは授業中、休み時間とも落ち着いた校内生活を送っている。各地域ごとの集団登校集合時にもあいさつができるように、お互いが顔を合わせたところからあいさつが始まるとうところを意識させるとよい。夢に向かう力を育む取組については、行事など子どもたちがすぐがんばっているのが外から見ても分かる。先生方のねらいに向かってより子どもたちの力が育まれるようにしてほしい。
	年度	おおむね良好	良好	挨拶は少しずつよくなってきている。子どもの姿として捉えたときに、毎日見ている先生方の評価がよくなってきており、キャリア教育も順調に進んできているので、継続してほしい。また低学年の挨拶への働きかけや取組についての保護者へのPRの工夫についても継続して取り組んでほしい。

と学校評価の価値の概要
 【前期(一年度)】〇あいさつ運動の取組によって、校内でのあいさつはよいが、地域の人からはあいさつが足りないとの声があった。2学期は、地域の人たちへ場に応じたあいさつができるように、運営委員会が中心となって、すこやか集会以「ロールプレイング的な発表を行う予定である。廊下歩行については、落ち着いて歩行できるようになってきたので、放課後の「なかよし」での過ごし方でも継続させたい。〇児童一人一人の目標を掲示しているが、つながりを深め広げて、目標に向かう力を育む取組について、さらに工夫を加えて実践していきたい。また2学期も収穫活動やたけのこの和紙作り等で、地域の教育力を活用した体験活動を充実させながら目標に向かう力を育んでいきたい。
 【年度(一次年度)】〇朝の挨拶に関しては、登校班長の6年生に学校で確認する場を設けながら、地域でも挨拶ができるように取り組んできた。挨拶の意識は高まってきたが、特に低学年について、その場に高学年がなくても自分から挨拶ができるように働きかけていきたい。〇つながりを深め広げて、自分の夢や目標に向かう取組であるふるさとキャリア教育、「農園活動」、「やませっ子マート」や「夢授業」、「二分の一人式」等、を全校の保護者にもよく伝えるように工夫を検討していきたい。

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・学校、家庭、地域が連携した「挨拶運動」の実施 ・「次代担う田代の子」の徹底	3	3
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながりを深め広げて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たしろたけのこテイクアクション」による目標に向かう力を育む取組	3	4

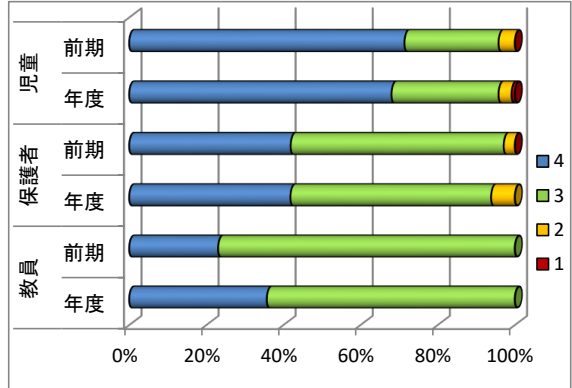
【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項

【1】に関するデータ

- ★ 児童会によるあいさつ運動の実施
運営委員会が中心となって、元気で明るいあいさつの呼び掛け
・各学年ごとのあいさつ運動 5月, 9月
・運営委員会のあいさつ運動
・集会等での紹介
- ★ 田代地区小中連携あいさつ運動 6月, 10月
中学生と一緒にあいさつ運動
(次代を担う田代の子「えがおであいさつ」)
- ★ 「全校集会」で集団登校集合場所でのあいさつ、言葉掛けの奨励
- ★ 「地区児童会」でのあいさつの練習

- □ 「子供たちは、明るく元気で心のこもったあいさつができています。」
- ◎ 「あなたは、明るく元気で心のこもったあいさつができましたか。」

※集団登校集合場所で明るくあいさつや言葉を掛け合うよう、事前に学校で練習



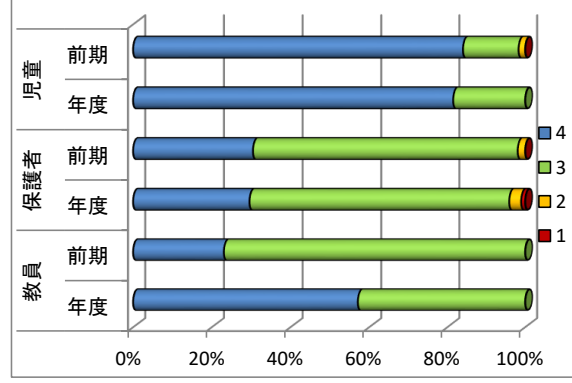
【2】に関するデータ

- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
〇職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
・顔写真と一人一人の夢の掲示、めあてカードの掲示等
〇行事や委員会・係などと関連させた取組
・毎月の月目標設定(学団ごと)
・目標に向かって努力する取組と振り返り～例: やませっ子発表会、農園収穫活動、やませっ子マート、夢授業、二分の一人式 等
〇ふるさとを歩こうデー6月(2年ぶりに実施)
・ふるさとの様子や自然の豊かさを学ぶ体験活動
〇地域の教育力を活用した体験活動(栽培活動、和紙づくり等)

- □ 「つながりを深め広げて、夢や目標に向かって努力する機会が充実し、目標に向かう力を育む取組がなされている。」
- ◎ 「あなたは、夢や目標をもって、友達と力を合わせて毎日の生活をがんばることができましたか。」



※元サッカー選手による「夢授業」を5年生がオンラインで行い、夢や目標に向かってどのように努力したらよいか、等を学びました。



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	全学年仲よくやっており、お互いに認め合っていることがよく分かる。いじめについては見落としがないようにお願いしたい。読書については、山瀬小は本が多くてよいという子どもの声があるので、進んで読書できる子どもが増えるように取組を期待したい。
	年度	良好	良好	
学校の評価改善の概要と	<p>【前期(一年度)】○定期的ないじめアンケートや個人面談等を実施し、児童の実態把握に努めている。「児童を語る会」では、全職員で児童の様子を把握し、共有している。また各学級で「道徳コーナー」を設置し、道徳科の指導の充実を引き続き図っていきたい。○縦割り班活動の集団登校では、6年生が1年生の面倒をよく見てくれる姿が目立った。親切な行動を紹介する「花丸ニュース」に投稿したい児童が多いようなので、今後は用紙を教室に置いて児童が記入しやすいようにする。また「思いやりの木」の取組を行いながら、心の育成に努めていききたい。○学校では、読書や読み聞かせがよくやられている。週末に本を借りる「うち読」を行っているが、週末以外も家庭での読書週間に身に付くよう、時間の使い方も含めて取組を継続していききたい。</p> <p>【年度(次年度)】○いじめアンケートにより、疑わしい記述には、素早く対応し解決することができた。市の教育研究会「道徳科」の会場校として、授業力の向上を図ることができ、今後も子どもの道徳的実践意欲を高める「道徳科」を推進していききたい。○縦割り活動や友達の思いやりの言動を紹介する「花丸ニュース」と「思いやりの木」の活動等を通して、友達にやさしく接する児童が多くなってきたので、継続していききたい。○図書委員会による読書強調月間や読書No.1の表彰等、読書に親しむ取組を行っている。また、うち読の日を設定しているが自分から進んで読書する習慣形成には至っていないようである。スポ少活動や習い事等がある中で、短い時間でも読書に親しむ習慣ができるよう家庭とも連携していききたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	4	4
	(4) つながりを深め広げて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	「歌声の響く学舎」(今月の歌)の取組・花丸ニュース・縦割り活動・異学年交流・思いやりの木	3	4
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の設定・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実・読書強調月間	3	3

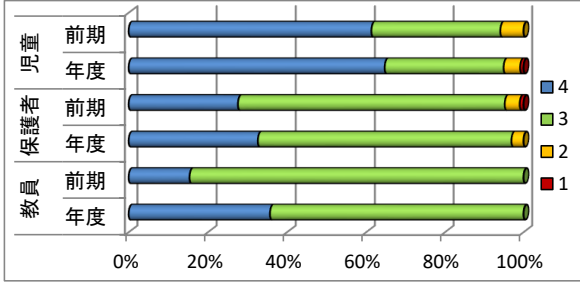
【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[3]に関するデータ

■ □ 「子どもたちに、自他を大切にする温かな思いやりの心が育っている。」

◎ 「あなたは、相手の立場にたって気持ちのよいやさしい言葉づかいができましたか。」

- ★児童観察と教育相談
 - ・いじめアンケート後の個人面談
 - ・長期休業中の全保護者との個人面談
- ★児童を語る会・特別支援委員会
 - ・細やかに児童の様子を把握し、適切な指導ができるように校内支援体制を作り、関係機関との連携を図る。
- ★道徳科の充実
 - ・実態やねらいに応じて、多様で効果的な指導方法を工夫をしている。
 - ・市教育研究会道徳の授業公開、研究会を実施・道徳コーナーの設置
- ★歌声の響く学舎(今月の歌)・歌声集会・やませっ子発表会全校合唱



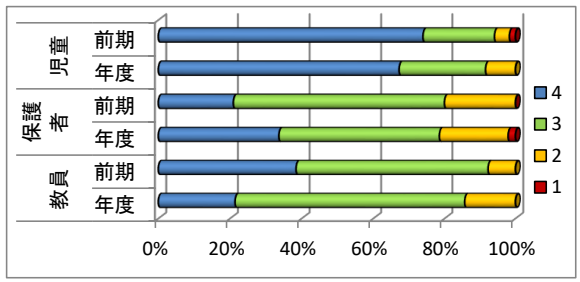
- [4]に関するデータ()は前期
- □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している」
 - ◎ 「あなたは、友達と協力しながら、縦割り班活動に取り組むことができましたか。」
- ◎ 児童 → 十分達成(90%) 85% おおむね達成(9%) 13% やや不十分(0%) 2% 不十分(1%) 0%
- 保護者 → 十分達成(34%) 35% おおむね達成(61%) 62% やや不十分(4%) 3% 不十分(1%) 0%
- 教員 → 十分達成(25%) 64% おおむね達成(75%) 36% やや不十分(0%) 0% 不十分(0%) 0%
- ★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例
- 花丸ニュース ○縦割り清掃活動 ○ペットボトルキャップ、プルタブの回収 ○大館市子どもサミットへの参加 ○「思いやりの木」の掲示
 - いじめ0運動(標語) ○集団登校(異学年登校班) ○異学年交流授業 ○保小交流授業 ○比内支援学校居住地校交流

[5]に関するデータ

- ★読書の奨励
 - ・読書カードの活用、昼読書の時間の設定(図書室活用)、家庭での読書の奨励と設定(うち読)
 - ・読み聞かせ会の実施(図書委員会・外部ボランティア)・読書強調月間の設定・読書No.1の表彰

※友達の親切な行動を葉の用紙に記入し、葉でいっぱいになった「思いやりの木」



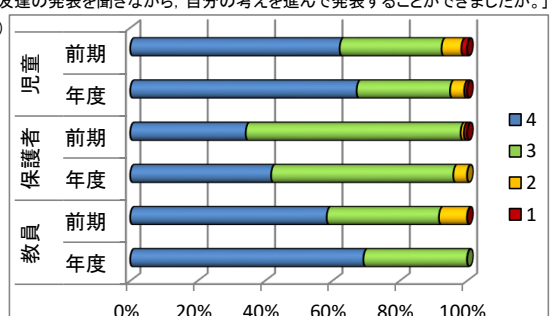
■ □ 「子供たちに読書の習慣が身に付いている。」◎「すすんで読書ができましたか」



ア 児童の状況

III 健康と体力				
児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	給食については、子どもたちが苦手な物もおいしく食べやすくしてくれるとの声があり好評であった。生活習慣の見直しでは、一層働きかけを強くして、メディアについて改善を期待したい。体力面については、弱いところを重点的に意図的に体力づくりに取り組んでもらいたい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	体力アッププロジェクトという新しい取組を行っている。体育に関しては自然に身に付いていくものでもあり、歩く量も不足していると思うので、機会を捉えて子どもたちに汗を流させることが体力づくりになる。またメディアコントロール力をつけるためには、やはり家庭にお願いしながら連携して取組を継続してほしい。
善学策と校学評価の改概	<p>【前期(一年度)】〇2年ぶりに運動会を行い、それに向けて子どもたちは、マラソン運動に意欲的に取り組むことができた。また同じく業間で、やませっ子なわとびギネス、なわとび運動もがんばることができた。2年ぶりに新体力テストを行った結果から、今後は投力や握力が付くような運動遊びを実施する予定である。〇1学期は養護教諭による歯磨き指導(ブラッシング)を全学年に実施できた。2学期から栄養教諭による食育指導を定期的にも実施し、またメディアコントロール週間(大館市一斉)を設定しながら、電子メディアの使用時間や生活習慣の見直しを図ってきたい。</p> <p>【年度(一学年度)】〇縄跳び等の業間運動の他、体育委員会による縦割り遊び(鬼遊び等)や学年対抗遊び(リレー)を昼休みに実施して、体力向上を図った。また「体力アッププロジェクト」を体育の始めに実施してきたが、より主体的に運動に親しむ児童が増えるようこれらを継続していきたい。〇栄養教諭による発達段階に沿った食育指導「ちよこつと食育」や規則正しい生活習慣形成のための保健委員会による集会での発表、メディアコントロール週間の実施等の取組を行ってきた。特に睡眠時間をきちんと確保できるよう、家庭と連携しながらメディアコントロール力の向上に努めていきたい。</p>			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B 前期 年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実		・業間等の体力づくり ・新体力テストの結果を生かした体育学習の取組 ・委員会主体の集団遊びの実施と工夫	3 3
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携		・食に関する啓発活動・手洗いの励行・歯磨き指導(ブラッシング)・メディアコントロール週間・学年にあった食育指導	3 3
<p>【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項</p> <p>[6]に関するデータ</p> <p>★ 体力づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇マラソン運動、やませっ子なわとびギネス～業間で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。 ・強調月間の設定 〇体育学習の充実 ・運動量を確保する多様な場を設定した授業 〇体育委員会主体の集団遊びの実施(縦割り遊び、学年対抗遊び) <p>※4年体育ゴール型ゲーム「タグラグビー」</p>  <p>■ 「体力づくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている。」 □ 「子どもたちは外遊びやスポーツに親しみ、体力づくりに努めている。」 ◎ 「あなたは、体育の時間や業間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」</p>  <p>★ 新体力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇実施日 <ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬～6月上旬 〇実施種目 <ul style="list-style-type: none"> ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ 〇実施結果(個人票)の配付(1学期) <p>★ 今年度の新体力テストの自校分析結果から、握力や投力等に課題が見られたので、「やませっ子体力アッププロジェクト」として「うんていわたり(握力アップ)」、「長縄8の字跳び(跳力アップ)」、「ボールバスターリー(投力アップ)」を体育学習の始めに実施してきた。</p> <p>[7]に関するデータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ □ 「子供たちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」 ◎ 「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」 <p>★ 栄養教諭との連携を図った食指導の実施(食育年間指導計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年に合った食育指導(ちよこつと食育) 給食指導のめあての設定と掲示(給食だより・食育掲示板) <p>★ 歯磨き(ブラッシング)指導週間、長期休業中のカード配付等、保護者と連携しながら指導を進めている。</p> <p>「生活習慣とメディアに関する実態調査」で、就寝、起床時刻や電子メディアの使用時間等を調査し、児童の実態を把握、家庭に生活習慣改善を呼び掛けている。</p> <p>★ メディアコントロール週間による規則正しい生活習慣づくり保健委員会による規則正しい生活の呼び掛け(すこやか集会)</p> <p>★ 田代中学校区合同学校保健委員会の開催、学校医からの助言</p>  <p>睡眠の大切さを伝えた保健委員会によるすこやか集会</p>  <p>栄養教諭による「ちよこつと食育」</p> 				

ア 児童の状況

IV 基礎学力																																																
児童の状況		学校評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント																																												
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	良好	良好	学力調査の結果を見ても大分上がっている。授業では、意見を述べるときはきちんと挙手をし、発表する友達をしっかりと見て聞き、返事など基本的なことがきちんとできている。どの学年にもきめ細かな指導が入っており、子どもたちはつながり、授業に入り込んでいた。この状態を維持してさらに上を目指してもらいたい。																																												
	年度	良好	良好	アンケートの結果が全体的に向上しており、子どもの姿、姿容をよく見ている先生方のアンケートでも前期よりよい評価になっている。前回見た授業もすばらしかった。授業を楽しんでおり、つながりの中で子どもたちがお互いに認め合いながら尊重しあっている。学習状況調査の結果も学習リーダーや今日の学びをシンカする取組が成果を上げていると思う。																																												
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】〇年度初めに「学習の約束」を重点的に指導し、また家庭と連携しながら家庭学習を継続する等、基本的な学習習慣が身に付いてきている。今後も家庭と連携しながら、学習習慣を定着させたい。〇意図的な繰り返し指導や朝学習、新聞を使った学習(新聞ワークシート)等で、基礎・基本的な学力が定着してきている。今後も取組を継続して、学年ごとに必要な学力を確実に身に付けさせたい。〇算数科を中心に3年生以上は児童が学習リーダーとなり、話し合いながら課題を解決する授業を行っている。今後はさらに、児童がつながりを深め広げられる学び合いを目指した授業に取り組んでいきたい。																																															
	【年度(一学年度)】〇各学級で「学習の約束」の指導を継続することにより、しっかりした学習規律で授業を行っている。また、ノート展や自学花丸デーを全校で統一して設定し指導に当たることにより、家庭学習の習慣が定着している。〇ドリルや百マス計算などの朝学習の継続や授業での確め問題、パワーアップタイムの実施等により、基礎・基本的な学力が定着してきている。〇授業での「つながる場」において、学習リーダーを育てながら、子ども同士がつながり、主体的に課題解決する本校の授業スタイルが定着してきている。また授業の最後の「振り返り」で、児童が学んだことの自覚や生かし方等、今日の学びをシンカ「深化、進化、真価」する取組を行っている。これらは今後も継続したい。																																															
5 確かな学力の育成	実践課題		主な取組																																													
	(8) 基本的学習習慣の徹底		・「次代になう田代の子～学習の約束～」の徹底 ・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化																																													
	(9) 基礎・基本的な学力の定着		・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫 ・聞き方、話し方の強調 ・月間の設定・パワーアップタイムの設定																																													
(10) つながりを深め広げて、主体的に学び合う学習指導の充実		・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこ子タイム)の充実																																														
【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項 【8に関するデータ】 ★学習指導部・研究部による計画的な取組 ◎ 「あなたは、授業中、学習の約束をしっかりと守って勉強し、家庭学習も毎日続けましたか。」 ○「学習の約束」の徹底 ・月別重点目標による徹底した学習訓練 ○家庭学習の習慣化 ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付 ・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施 ・自学花丸デーの設定 ・自学を見合う会(学団)の設定 ○学習環境の整備 ・「話し方・聞き方名人」 ・「やませっ子学びのスタイル」 ・「声のものさし」																																																
※みんなの方を向いて発表(1年)																																																
【9に関するデータ】 ★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況 ○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用 ・百マス計算 ・ことばのきまりドリル ・新聞ワークシート 等 ○各種テスト ○ノートチェック ○学習アンケートの実施 ○パワーアップタイムの実施																																																
R3年度県学習状況調査(県平均正答率との比較)																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学年</th> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>算数</th> <th>理科</th> <th>結果から見た児童の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>4年</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td rowspan="6">4年生以上、各教科とも県平均を上回っており、学力の定着が良好な状況となっている。調査結果の分析に基づいて、個に応じた指導を充実させていきたい。</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>4年</td> <td>73.5</td> <td>71.3</td> <td>82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本校</td> <td>5年</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>5年</td> <td>66.9</td> <td>68.1</td> <td>67.5</td> <td>78.1</td> </tr> <tr> <td>本校</td> <td>6年</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>6年</td> <td>79.7</td> <td>71.5</td> <td>69.1</td> <td>79.7</td> </tr> </tbody> </table> ※県の平均正答率を10%以上上回る◎、10%未満上回る○					年度	学年	国語	社会	算数	理科	結果から見た児童の状況	本校	4年	◎	◎	◎	◎	4年生以上、各教科とも県平均を上回っており、学力の定着が良好な状況となっている。調査結果の分析に基づいて、個に応じた指導を充実させていきたい。	県平均	4年	73.5	71.3	82		本校	5年	◎	◎	◎	◎	県平均	5年	66.9	68.1	67.5	78.1	本校	6年	◎	◎	◎	◎	県平均	6年	79.7	71.5	69.1	79.7
年度	学年	国語	社会	算数	理科	結果から見た児童の状況																																										
本校	4年	◎	◎	◎	◎	4年生以上、各教科とも県平均を上回っており、学力の定着が良好な状況となっている。調査結果の分析に基づいて、個に応じた指導を充実させていきたい。																																										
県平均	4年	73.5	71.3	82																																												
本校	5年	◎	◎	◎	◎																																											
県平均	5年	66.9	68.1	67.5	78.1																																											
本校	6年	◎	◎	◎	◎																																											
県平均	6年	79.7	71.5	69.1	79.7																																											
【10に関するデータ】 ■ □ 「主体的に学び合う学習指導が充実している。」 ★「主体的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組 ◎ 「あなたは友達の発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」 ○つながる場(たけのこ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定) ○シンカする場(振り返りで今日の学びをシンカ「深化、進化、真価」)																																																
※青森県からの視察 振り返りの発表場面(シンカする場)																																																
																																																

イ
**学校運営
の状況**

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	良好	良好	PTA生活環境部による街頭指導、危険箇所看板の設置等、安全確保への取組、地域との連携がよくやられている。自転車のルールを守るよう指導をお願いしたい。アンケートでは、安全に登下校していると答えている子どもが多いが、命に関わるところはきちんと指摘して指導してほしい。
	年度	良好	良好	児童の安全への意識の向上と、地域協力に対する保護者の評価の向上から、今までの取組に対する成果が見て取れる。また、集団登校時の低学年の声を聞いて改善し全校に反映させている。安全指導で特に緊急対応については、迷いのないような取り決めをきちんとしておいた上で、臨機応変に対応してほしい。

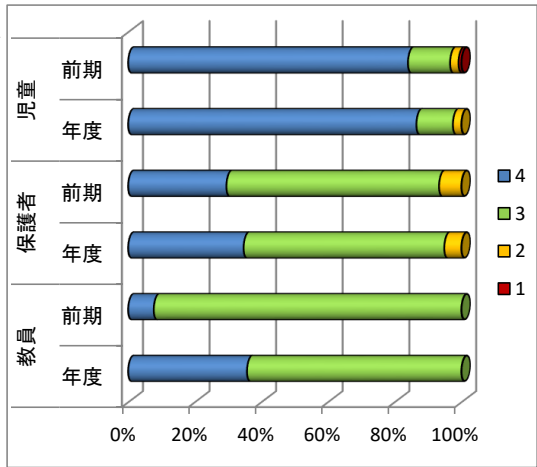
と学校校評の価改の善概要
 【前期(一年度)】交通安全教室や避難訓練等で、具体的な安全指導が実施できている。多くの児童が安全意識を高め実践しているが、今後も特に決まりを守った自転車走行や決まった通学路を下校するといった、一人でも安全な行動ができるよう、集会等を活用しながら指導を継続していく。OPTA生活環境部やスクールガードリーダー、子ども110番の家等の関係機関と連携しながら、安全な環境づくりに努めてきた。今後も児童や保護者、地域の安全に関する声を聞きながら、改善すべき事項は関係機関と素早く連携して、児童の安全確保に取り組んでいきたい。

【年度(一次年度)】集団登校時、低学年の歩く速さに先頭の班長が合わせていないとの指摘があり、学級で班長の指導や地区児童会で特に低学年児童から困り事を聞き取りし、実際に並んでみる等の手立てを講じて改善を図っている。災害対策として、児童自ら自分の命を守る方法を身に付けるよう、避難訓練やシェイクアウト訓練を実施した。○地域からの情報を基に、雪による危険箇所を把握し、除雪の対策を素早く行うことができた。今後も保護者や地域の方々、スクールガードリーダーと連携しながら、危険箇所が分かったら、関係機関に相談し、早めの対応をしていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・避難訓練(地震、不審者、火災)、防犯教室、交通安全教室、シェイクアウト訓練の実施 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会での集団登校の指導	4	4
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携・引き渡し体制の整備・危険箇所看板設置、街頭指導	4	4

【各種データ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項
 [11に関するデータ] ■ □ 「子供たちに安全への意識が育っている。」
 【取組の具体例】★安全意識の高揚 ◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

- 通学路の歩き方と危険箇所の確認
 ・4月、集団下校で通学路、歩き方の確認・地区児童会での集団登校約束の確認
 ・安全意識を高める集会での指導(定例集会・夏休み、冬休み前集会)
- 交通安全教室
 ・4月16日 ・1～2年歩行 ・3～6年自転車の乗り方
 ・9月8日 歩行環境シミュレーターを活用した1年交通安全教室(県と市教育委員会主催)
- 避難訓練
 ・地震想定避難訓練 5月19日～地震発生時の避難の仕方
 ・不審者対応避難訓練 6月3日～不審者対応時の避難の仕方(防犯教室)
 ・保護者への引き渡し体制の整備(引き渡しカード更新 *引き渡し訓練休止)
 ・火災避難訓練10月27日～火災からの避難の仕方、消火器の使い方
- 「すこやか通信」(生徒指導報)の発行
 ・自転車の乗り方
 ・下校後の過ごし方(時間、ルール)
 ・不審者注意
 ・夏休みの暮らし方
 ・子ども110番の家紹介
 ・緊急地震速報対応
 ・冬休みの暮らし方

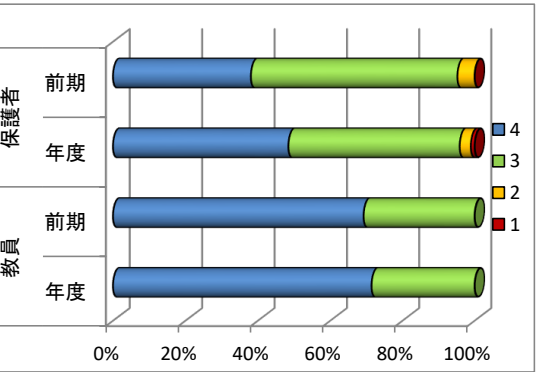


※急な地震から身を守るためのシェイクアウト訓練(全校集会で)

★PTAやスクールガードリーダー等の連携 ■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
- ・巡回指導の留意点や最近の状況などについて情報交換
 ・PTA生活環境部による危険箇所確認と看板設置、撤去
 ・子ども110番の家の確認と再依頼(18か所)

※PTA生活環境部による危険箇所看板設置(6/6)と撤去(11/14)



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携				
学校の状況		学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	栽培活動や2年ぶりに開催した「ふるさとを歩こうデー」、和紙作り等のキャリア教育は大変よい。地域の素材、人材を活用し、新しく榊細工も加わったことは画期的である。子どもたちも満足しており、取組に対して地域の人材が応えてくださっているところに、この地域のよさがある。学校だよりも継続して地域に発信してほしい。
	年度	良好	良好	
校 学 校 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(一年度)】	○学校だよりや学級通信を定期的に発行し、行事や児童の様子、活躍をお知らせしている。また保護者と教育相談を実施し、情報交換をしている。今後は学校や子どもの様子が、より分かりやすく伝わるような工夫と、行事のお知らせは早めに伝えることを心掛けていきたい。○コロナウイルス感染防止対策をしながら、地域の「もの・ひと・こと」を活用した体験活動を実施することができた。またクラブ活動において、新しく「榊細工クラブ」をつくり、地元の職人さんから教えていただいている。今後もコロナ感染対策をしながら、できるだけ地域の素材、人材を生かしたふるさとキャリア教育を推進していきたい。		
	【年度(二次年度)】	○外部からの依頼で学校を通して配付している物に、「3年生以上対象」が2年生に配付したことがあったため、印刷する前に対象学年を再度確認する等心掛けていきたい。学校や学級の様子をお伝えしている学校だより「やませっ子」や学級通信を、文字の大きさや写真等、読みやすさを考慮した紙面構成をさらに工夫、改善をしていきたい。また、行事や活動など報道関係に取材依頼し、児童の活躍を広く伝えられるようにしていく。○ふるさとキャリア教育として、保護者や地域の方々と連携して行った栽培活動で収穫した農作物を、「やませっ子マーケット」として「たけのこ館」で販売することができた。コロナが落ち着いたら、児童の直接販売も再開したい。また、たけのこ皮からの和紙づくりも順調に実施でき、クラブ活動では、地元外部講師の方々から本物を学ぶことができた。以上の活動は、来年度も継続していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・HP、各便り発行による情報発信 ・保護者アンケート等による情報交換	4	4
	(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材を活用した多様な体験活動の実施	4	4

【13に関するデータ】 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

★各便り発行

- 学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPでも紹介
 - ・毎月発行(学校の出来事、来月行事のお知らせ)
 - ・行政連絡員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

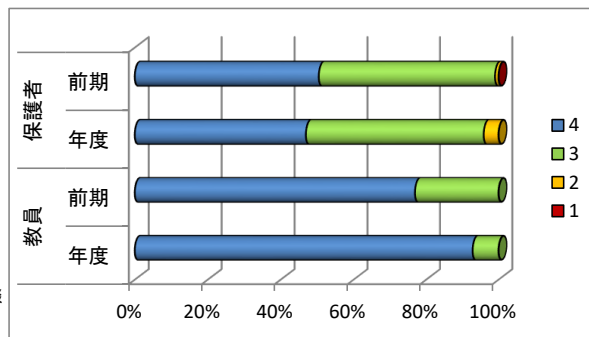
- ・毎週発行(学年の出来事や次週の予定)

★保護者アンケート等による情報交換

- 学校教育アンケートの実施と結果・対応の公表
- PTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有
- 教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクール・カウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学担による個人面談
- ・民生委員との情報交換(夏休み前実施)
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



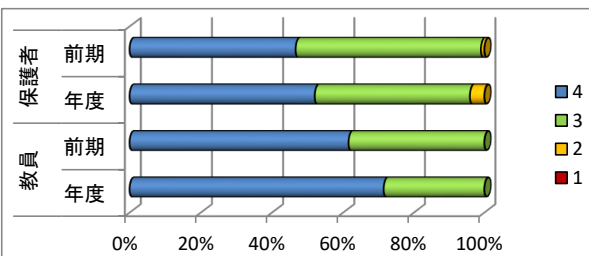
【14に関するデータ】

★「もの・ひと・こと」を生かした体験活動の充実

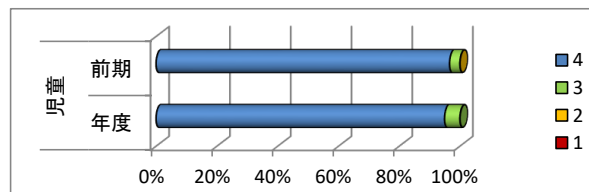
○地域に根ざしたふるさとキャリア教育

- ・クラブ活動における地元講師の活用(五つのクラブ)
- ・環境整備(農園、校庭、校舎等)支援
- ・田代地域学校協働支援チームでの情報交換、支援の依頼
- ・「たけのこ学習」を核とした体験活動への支援
 - ・ふるさとの風を感じて(ふるさとを歩こうデー)
 - ・ふるさとの恵を感じて(農園栽培活動、やませっ子マーケット)
 - ・ふるさとへの思いを育て(たけのこ和紙づくり)

■ □ 「地域の『もの・ひと・こと』を活用した豊かな教育活動が行われている。」



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてください、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」



※地元講師の方から本物を学ぶクラブ活動(榊細工クラブ)



全体コメント

【 学校関係者評価委員のみなさんにいただいた総評です 】

○ 前期学校評価総評

学校関係者評価委員：浅利道博氏・片岡精子氏・小笠原正人氏・佐藤一史氏

☆児童からのヒアリングでは、地域に対するあいさつはがんばっているようなので、集団登校での合流時あいさつをがんばってもらいたい。あいさつはこれから強化していくことを言っていたので期待したい。児童へのヒアリングから、いじめ等に関しても、そんなことを感じたことがない、人は少ないけれど仲よくなれる、ということを全く自然体に話してくれた。つながりというか、お互いを信頼し合っているのを感じた。また、子どもたちががんばっているという意識をもって取り組んでいる行事や活動が、先生方の自己評価が厳しい感じもするが、達成基準を目指して取り組んでほしい。

☆学校の雰囲気や児童の感じは、よくなっている。特に2年生が成長を感じたし、6年生はすばらしい。職員へのヒアリングから、集会では、6年生が下級生のよい見本になっているとのことだった。また若い先生が堂々と自信をもって授業をやっているし、先生方一人一人が落ち度がないような取組がなされ、すべての学年に一本筋が入っている。掲示されている子どもたちの日記や作文も、行を空けていない、最後まで書き切る、文字もしっかり気持ちを込めて書いている。すばらしいと思った。職員へのヒアリングから職員室の雰囲気もいいようで、先生方が何でも言い合えるという環境がとてもよい。6年生の英語の授業、会話や雰囲気を中学校へ行っても出してほしい。小・中学校の交流で、ぜひ中学校の先生方に6年生の授業を見てもらいたい。

★6年生が多目的室での英語の学習でパイプ椅子を使用していた児童もおり、それだけ不足しているのかな、とあって気になった。椅子と机の新しい物が今年度入ると聞いていたが……。〈何年前かにいくつか更新されており、その更新期間が今年度で終わる。また来年から教育委員会による新しいサイクルでの計画により、椅子、机が来年以降に更新されることになった。〉

○ 年度学校評価総評

☆学校行事が多いと、大抵の学校では、行事が多いためにやれないことが出てきて大変さを訴え、行事を減らしている。先生方のヒアリングからは、行事は多いと思うがきちんと維持して、行事への熱量も他校よりはるかにかけており、子どもの成長を見れば自分たちも勉強になっているといったプラス思考、すぐ前向きに捉えている。子どもの姿にも間違いなく反映されている。子どものヒアリングからも授業が楽しいと話していた。子どもと先生方、職員同士もうまい人間関係が築かれている。

☆今日のハッピーフェスティバルでは6年生がすごく立派だった。これまでも6年生がうまく全校を引っ張っており、6年生の姿を見ながら、5年生、4年生が育ってきている。以前は低学年がきちっと指導されていて、高学年が薄い傾向があったが、今は1年生から6年生まできちんとできている。

☆文字をすごく大事にしている。職員室前の習字(書き初め)、普通はあんなに書けない。子どもたちのノート等の文字も丁寧である。

★子どもたちは学校内では明るく、はつらつとやれるが、それが外に出たときに学校以外の人たちの交わりの中で、どういふふうに出てくるのか、ということをヒアリングで先生方が話していた。子どもたちもまだまだ外の地域のことが分からないし、一方で外から来た人は、この地域がすごくいいところがいっぱいある、もったいないという話をよくされている。コロナ禍でなければもっと外部の人から鍛えてもらえる場があったかもしれない。来年度の60周年を生かした取組(地域学習等)をしてほしい。